

第23回日本乳癌学会近畿地方会 教育セミナー 治療編

術前化学療法後の薬物療法

日本赤十字社和歌山医療センター 乳腺外科部

松本純明



The Japanese Breast Cancer Society
since 1992



筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

症例

【症例】50歳台女性 右EAB区域 炎症性乳癌

【cStage】cT4dN1MO cStageⅢB (N1は細胞診で確定)

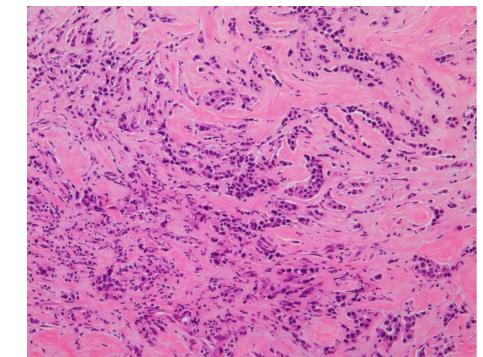
【VAB】Invasive carcinoma, NST, Histological grade 1 (3-1-1),
ER(-), PgR(-), HER2(- score0), Ki-67(54%), E-cadherin(+)

【遺伝学的検査歴】BRCA1 病的バリアント(c505 C>T)

【既往歴】高血圧・高脂血症

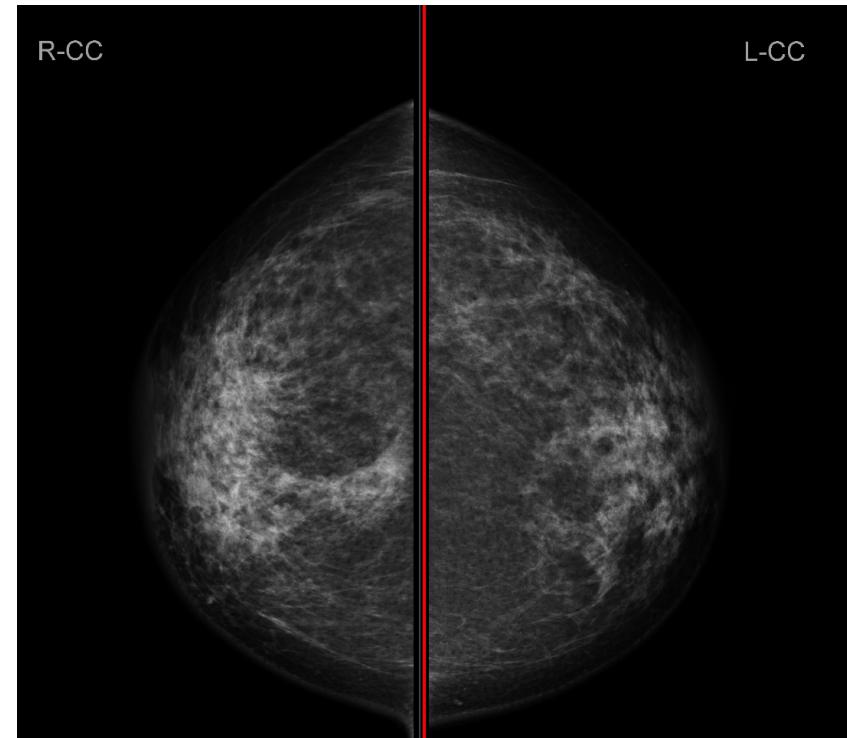
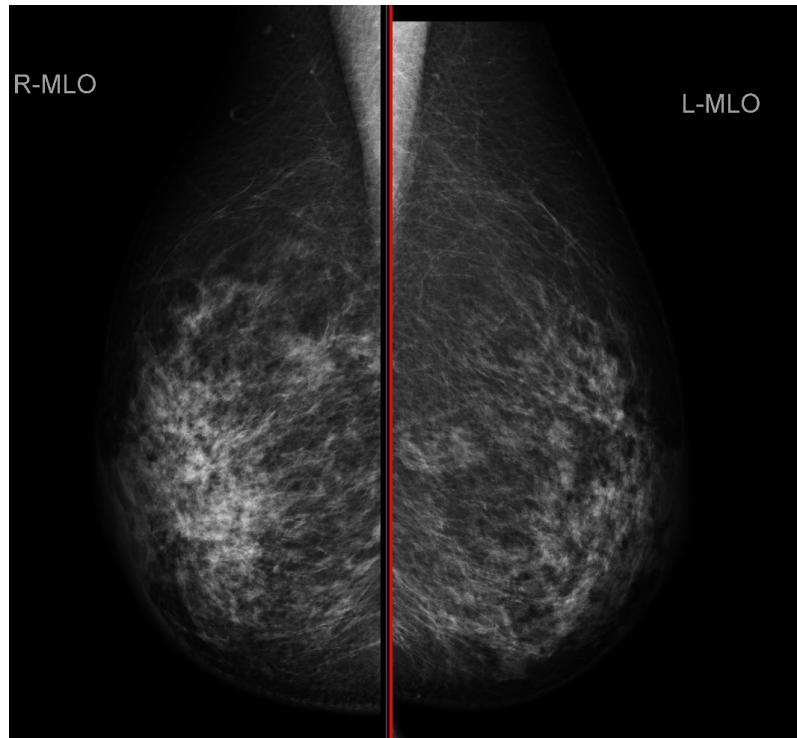
【家族歴】母：71歳時 乳癌 (TNBC/BRCA1病的バリアント) 父：76歳時 膀胱癌

【生活歴】初経12歳 妊娠1回 出産0回 閉経前 喫煙歴20本/日(18-38歳) 飲酒歴なし



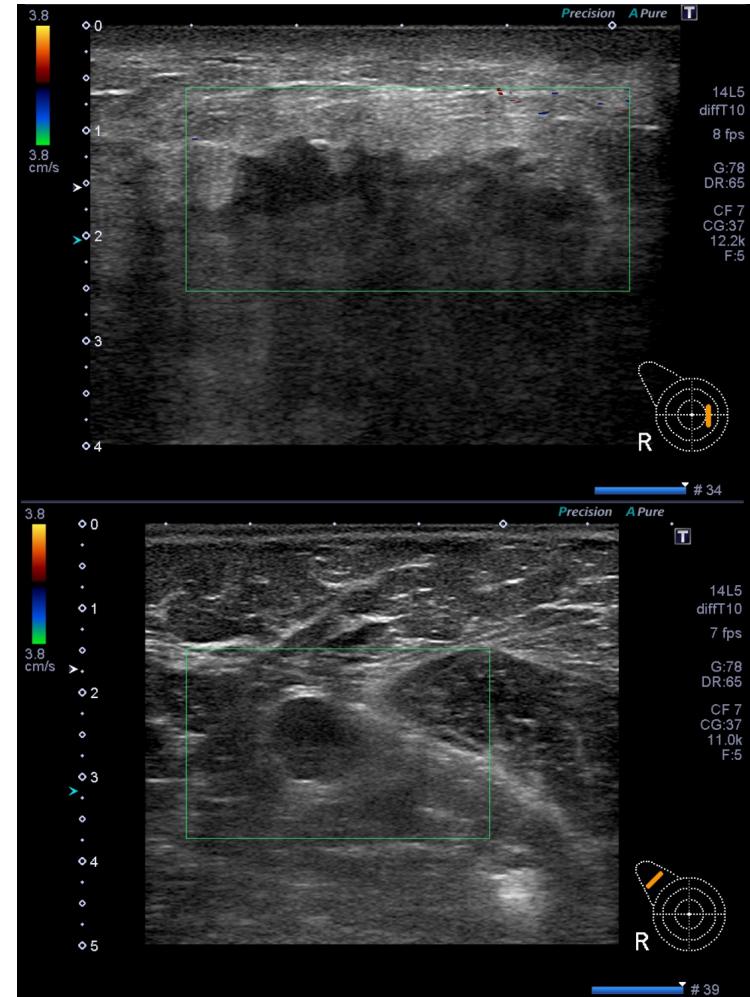
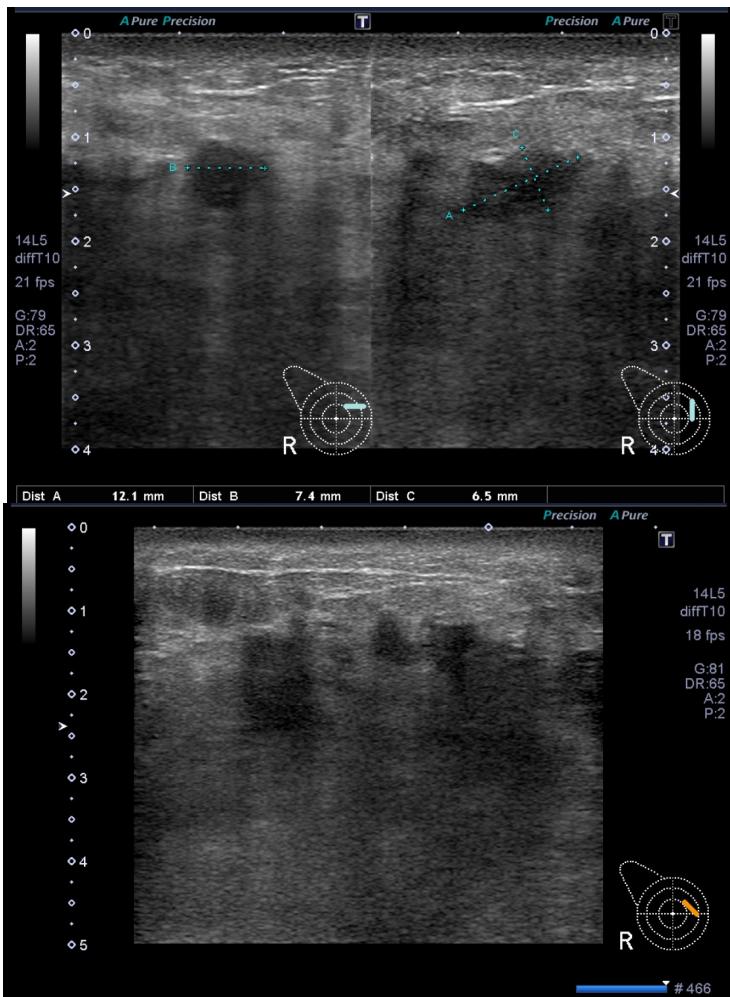
症例

MMG



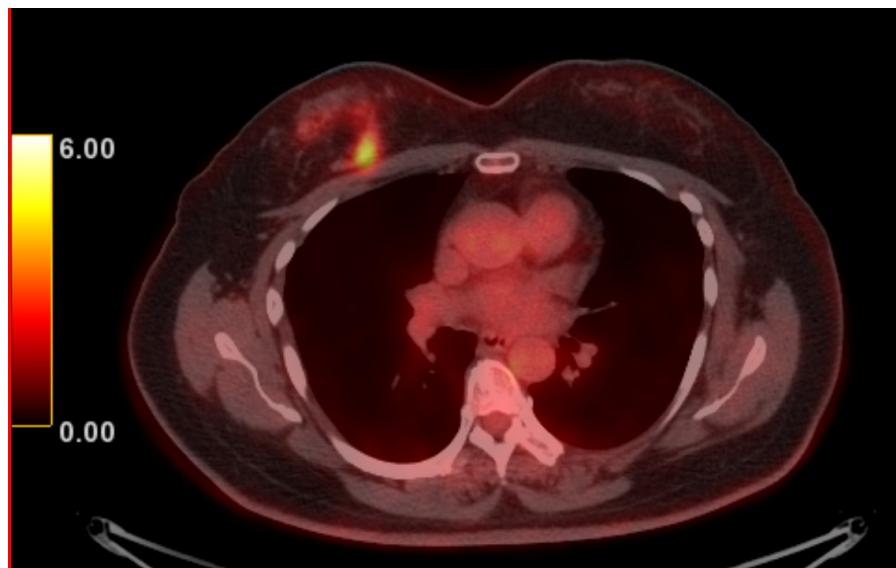
症例

US



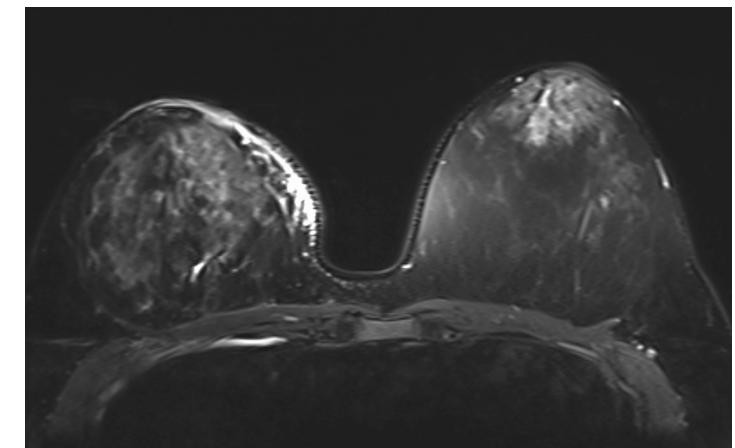
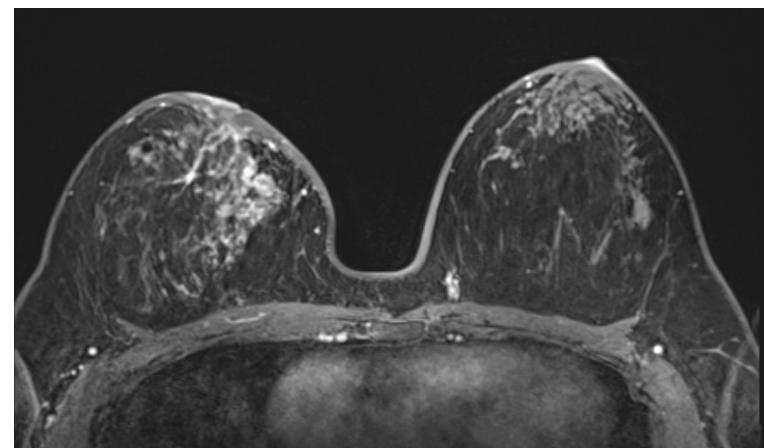
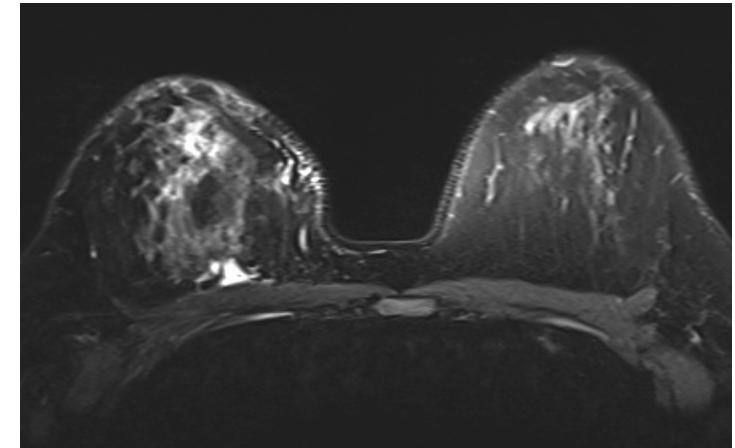
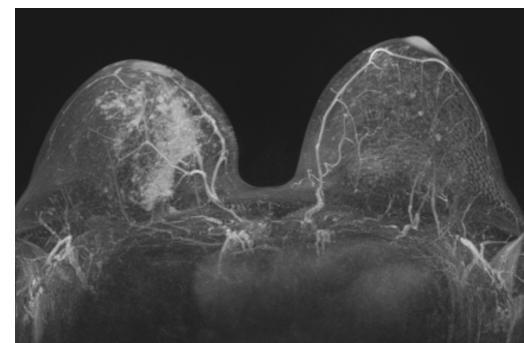
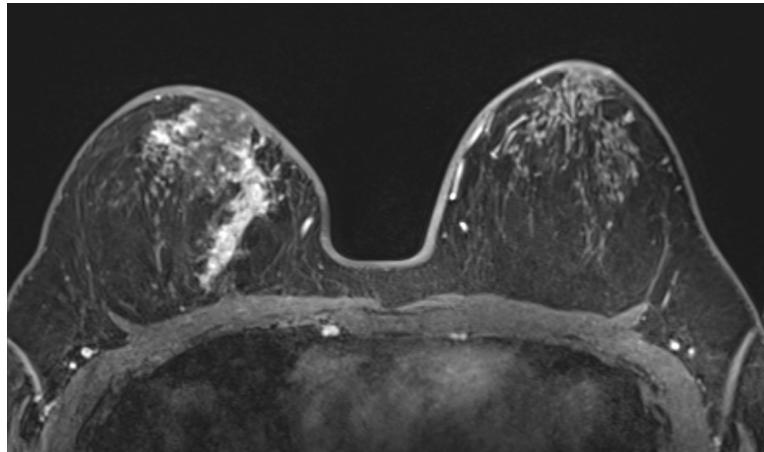
症例

FDG-PET/CT



症例

MRI



症例

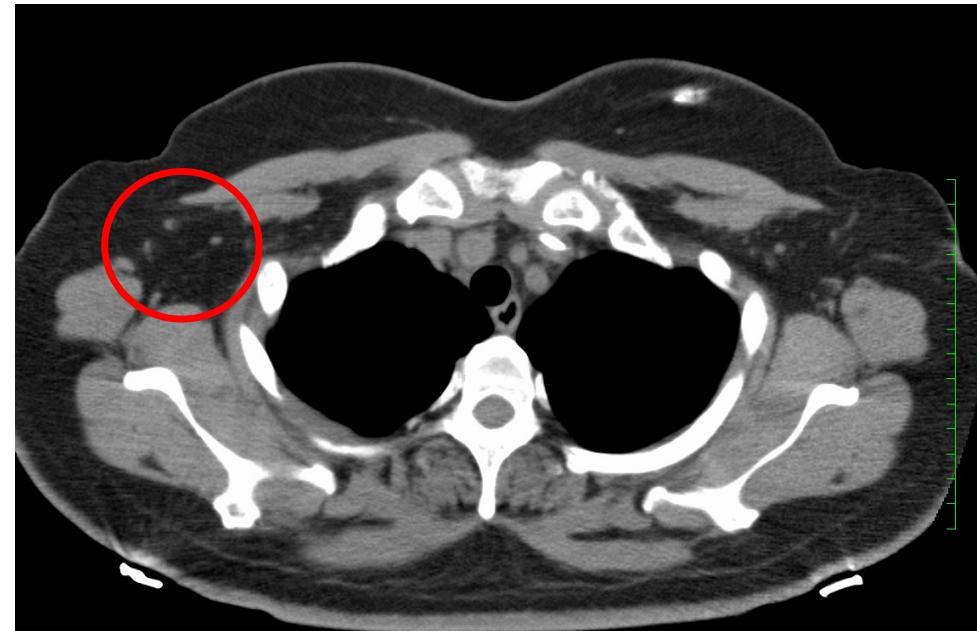
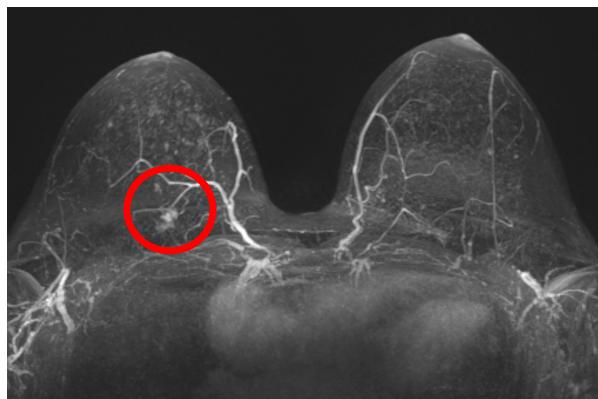
質問 1：術前化学療法を選択しました。どんなレジメンを推奨しますか？

症例

KEYNOTE-522試験レジメンを選択しました。

Pembrolizumab + Carboplatin + Paclitaxel

→ Pembrolizumab + Epirubicin/Cyclophosphamide 完遂
術前評価画像は以下の通り。

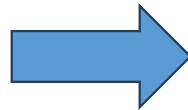
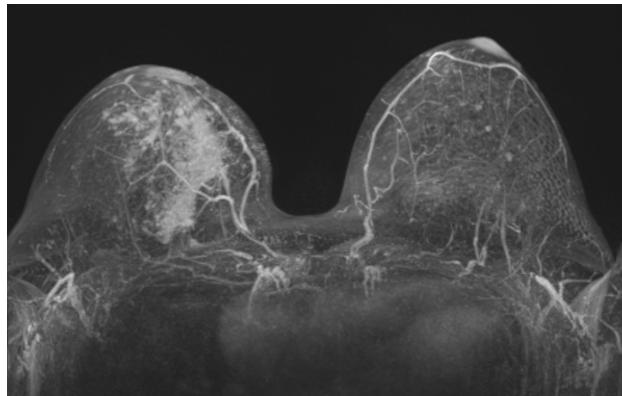


症例

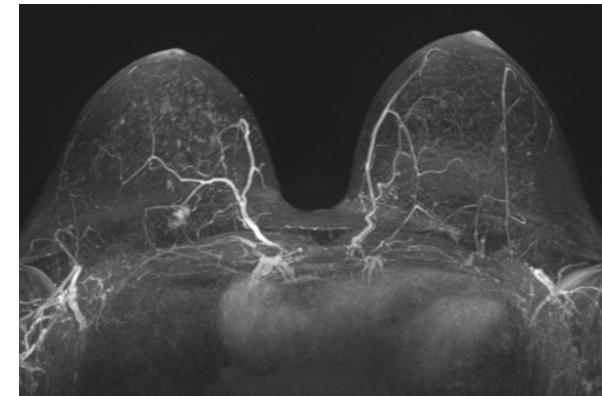
KEYNOTE-522試験レジメンを選択しました。

Pembrolizumab + Carboplatin + Paclitaxel

→ Pembrolizumab + Epirubicin/Cyclophosphamide 完遂
術前評価画像は以下の通り。

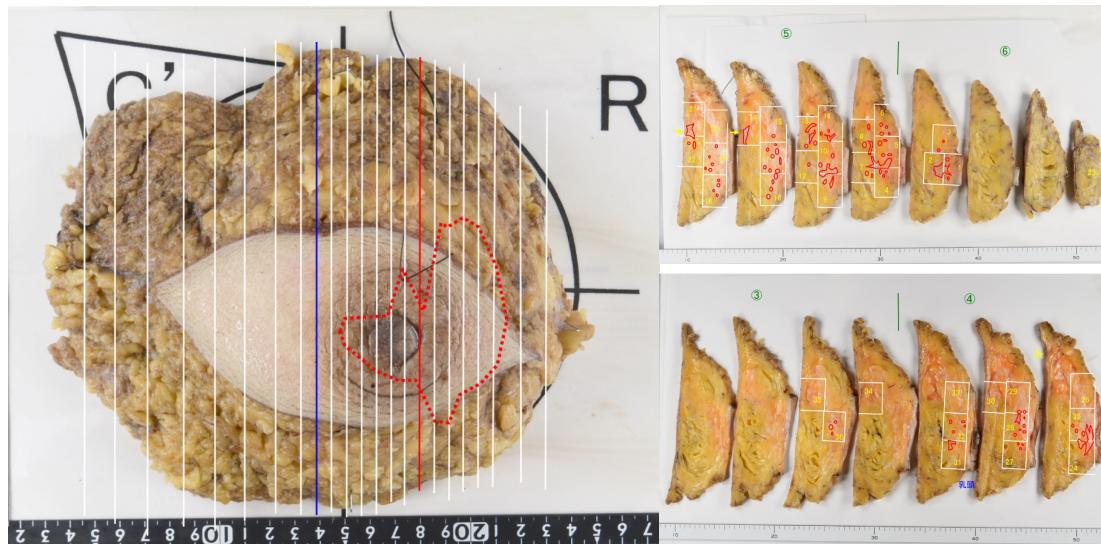


6ヶ月後



→ 右 Bt+Ax 左 RRM 婦人科にてRRSO施行

症例



Breast, right, resection, status post chemotherapy:
Invasive carcinoma, NST, **residual**,
Histological grade 2(3-2-1),
f, ly0, v0, ypT3, ypNO(0/16)
Therapeutic grade 2a

症例

質問2：術後化学療法は何を行いますか？

症例

質問2：術後化学療法は何を行いますか？

Pembrolizumab ×9 回を行いました。

症例

質問3：本症例で、 Pembrolizumab 9回の後にOlaparib内服1年を行いますか？

症例

質問4：NACの治療効果がGrade 0 (RCB-3相当) であった場合は？